

東京都中小企業の景況

(平成16年6月調査)

平成16年6月22日

産業労働局 商工部

景況：回復基調の中で一進一退。
見通し：先行きに対する期待感が持続。

《5月の景況》

都内中小企業の業況は6ポイント悪化し、回復基調にあるものの、1月以降「改善」「悪化」を繰り返す一進一退の動きとなっている。業種別では製造業のみ横ばい。卸売業、小売業、サービス業は悪化した。また、向こう3ヶ月の業況見通しは、引き続き期待感が持続している。

- 5月の都内中小企業の業況は▲32(前月▲26)と6ポイント悪化し、回復基調の中で一進一退の動きとなった。製造業は▲17(同▲18)と横ばいに推移し、2ヶ月連続で▲10台となった。卸売業は▲31(同▲21)、小売業は▲58(同▲48)とそれぞれ10ポイント下がり、悪化した。またサービス業も▲26(同▲21)と5ポイント悪化した。

業種区分でみると、製造業は「食料品・その他」の18ポイント悪化と、「金属材料」の14ポイント改善が目立つ。卸売業は「機械器具」のみ4ポイント改善したほかは、全区分で悪化した。小売業は「食料品」「日用雑貨」以外は全区分で悪化し、特に「衣料・身の回り品」は週末の天候不良により25ポイントと大きく悪化した。サービス業は「企業関連サービス」が6ポイント、「個人関連サービス」が1ポイント悪化した。

- 前年同月比の売上高は▲32(前月▲19)と13ポイントの大幅な悪化となった。業種別では製造業が6ポイント、卸売業は17ポイント、小売業は20ポイント、サービス業は8ポイント悪化し、卸売業と小売業の悪化が目立つ。業種区分でみると、改善については製造業の「食料品・その他」14ポイントの大幅改善が目立つ。一方、悪化については卸売業の「衣料・身の回り品」31ポイント、小売業の「耐久消費財」41ポイント、「衣料・身の回り品」34ポイント、サービス業の「個人関連サービス」22ポイントの悪化が目立つ。
- 当月と比べた向こう3ヶ月(6～8月)の業況見通しは、▲12(前月▲10)とわずかに悪化したものの、先行きへの期待感は弱まっていない。業種別にみると、製造業は▲9(同▲5)と4ポイント悪化した。一方、卸売業は▲7(同▲9)と2ポイント、小売業は▲18(同▲22)と4ポイント改善した。サービス業は▲16(同▲9)と7ポイント悪化した。

景況指数表

・指標値(%):DI = 「良い」・「増加」等企業割合 - 「悪い」・「減少」等企業割合

調査規模	調査対象 企業数	4,250	5月の景況					今後3ヶ月の見通し			
	回 答 企業数	1,540	業 況	売（ 前 上月 比 ） 高	売（ 前 年 上 同 月 比 ） 高	仕（ 前 月 価 比 ） 格	販（ 前 月 価 比 ） 格	製 品 商 品 在 庫	業（ 当 月 比 ） 況	売（ 当 上 月 比 ） 高	売（ 前 年 上 同 期 比 ） 高
	回 答 率	36.2%									
全	体		▲32	▲20	▲32	▲ 3	▲11	9	▲12	▲ 8	▲23
製	造 業		▲17	▲13	▲17	21	▲11	7	▲ 9	▲ 7	▲11
	織 維 ・ 衣 料		▲40	▲23	▲54	4	▲ 9	▲ 2	▲ 9	▲15	▲38
	木 材 関 連		▲43	▲29	▲56	▲16	▲60	13	▲26	▲29	▲31
	紙 ・ 出 版 ・ 印 刷		▲33	▲21	▲37	4	▲11	10	▲19	▲ 9	▲38
	化 学 ・ 皮 革		▲ 8	▲ 8	▲19	19	▲ 9	7	1	0	▲11
	金 属 材 料		▲ 3	0	▲ 3	51	▲ 3	5	▲10	▲ 5	3
	機 械 器 具		▲ 8	▲13	4	28	▲13	8	▲ 4	▲ 3	8
	食 料 品 ・ そ の 他		▲36	▲25	▲15	5	▲14	17	▲12	▲14	▲15
卸	売 業		▲31	▲19	▲28	▲ 9	▲ 2	17	▲ 7	1	▲12
	衣料・身の回り品		▲53	▲24	▲39	▲ 7	▲14	24	▲ 6	▲ 6	▲21
	食 料 品		▲31	▲15	▲25	▲13	1	19	16	18	▲ 6
	日 用 雑 貨		▲40	▲31	▲40	▲21	▲15	21	▲14	▲ 4	▲26
	建 築 ・ 住 宅 関 連		▲34	▲26	▲50	▲ 6	1	13	▲ 8	▲ 1	▲33
	化 学 ・ 金 属 材 料		▲21	▲16	▲ 4	▲ 6	19	18	▲15	▲ 1	1
	機 械 器 具		▲ 8	1	▲ 4	▲ 3	▲ 6	7	▲ 6	3	18
	小 売 業		▲58	▲33	▲57	▲27	▲18	4	▲18	▲14	▲45
小	衣料・身の回り品		▲63	▲39	▲65	▲25	▲28	13	▲22	▲19	▲47
	食 料 品		▲50	▲30	▲52	▲28	▲20	1	▲23	▲19	▲45
	日 用 雑 貨		▲60	▲23	▲52	▲30	▲11	4	▲15	▲11	▲44
	耐 久 消 費 財		▲65	▲41	▲70	▲40	▲17	0	▲15	▲10	▲44
	余 暇 関 連		▲53	▲32	▲43	▲10	▲ 9	0	▲10	▲ 3	▲45
	サ ー ビ ス 業		▲26	▲17	▲32	-	▲15	-	▲16	▲14	▲26
サ	企業関連サービス		▲23	▲12	▲29	-	▲15	-	▲17	▲14	▲25
	個人関連サービス		▲30	▲26	▲42	-	▲18	-	▲10	▲12	▲29

(注) 1. 調査項目: 業況(良い・普通・悪い)、売上高(増加・ほぼ同様・減少)、仕入価格・販売価格(上昇・ほぼ同様・低下)、製品商品在庫(過大・適正・不足)

2. 売上高: 製造業は生産額。

3. 仕入価格: 卸売業・小売業は仕入高。

4. 販売価格: サービス業は料金単価。

登録番号 15(297)

《規模別景況》

- 都内中小企業の規模別業況は、小規模が▲42（前月▲32）と10ポイント、中小規模が▲37（同▲29）と8ポイント、それぞれ悪化した。中規模は▲28（同▲28）と変化ない。大規模は▲16（同▲11）と5ポイント悪化した。
- 前年同月比の売上高は、小規模が▲46（前月▲33）と13ポイント、中小規模は▲34（同▲25）と9ポイント、中規模は▲29（同▲21）と8ポイント、大規模は▲14（同+4）と18ポイント悪化し、大規模の悪化が目立つ。
- 当月と比べた向こう3ヶ月（6～8月）の業況見通しは、小規模が▲20（前月▲17）、中規模が▲11（同▲6）と悪化した。一方、中小規模▲12（同▲13）はほぼ横ばい、大規模+4（同+1）はやや改善した。

景況指数表

・指標値(%) : DI = 「良い」・「増加」等企業割合 - 「悪い」・「減少」等企業割合

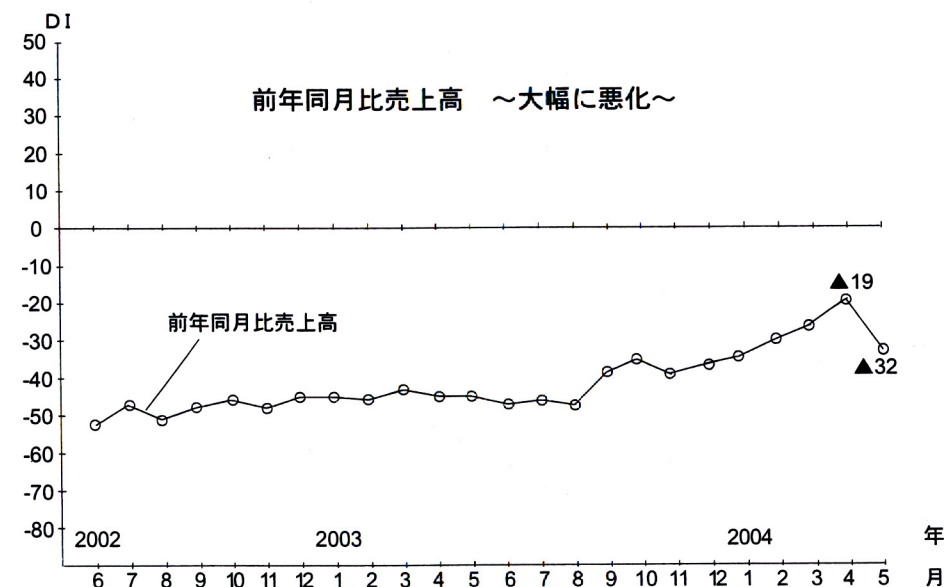
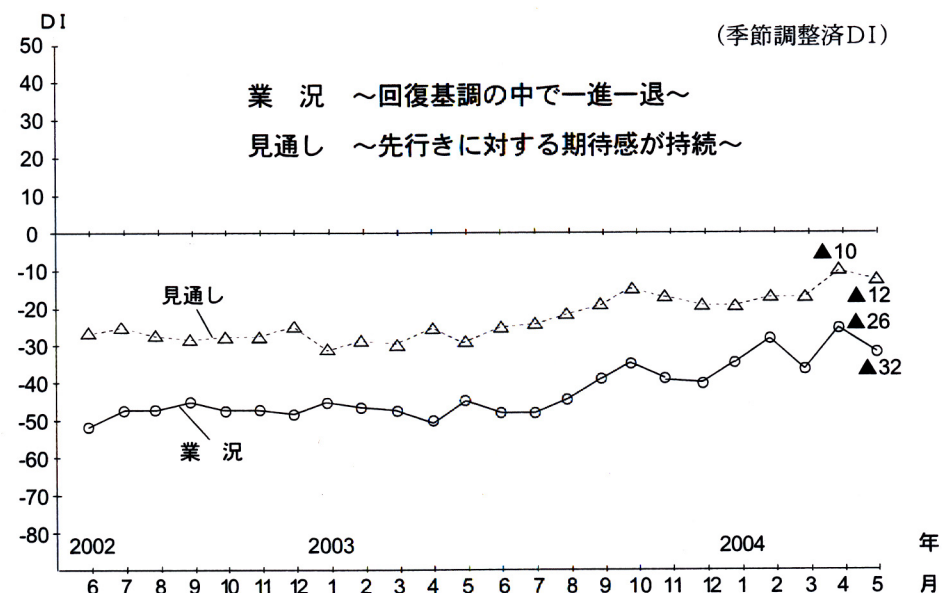
調査規模	調査対象 企 業 数	4,250	5 月 の 景 況						今後3ヶ月の見通し		
	回 答 企 業 数	1,540	業 況	売（ 前 上月 比） 高	売（ 前年 同月 比） 高	仕（ 前 月 価 比） 格	販（ 前 月 価 比） 格	製 品 商 品 在 庫	業（ 当 月 比） 高	売（ 当 月 比） 高	売（ 前年 同期 比） 高
全 体	▲32	▲20	▲32	▲3	▲11	9	▲12	▲8	▲23		
規 模	小 規 模	▲42	▲29	▲46	▲12	▲13	6	▲20	▲16	▲36	
	中 小 規 模	▲37	▲21	▲34	▲9	▲15	6	▲12	▲9	▲27	
	中 規 模	▲28	▲19	▲29	3	▲8	14	▲11	▲6	▲20	
	大 規 模	▲16	▲8	▲14	14	▲7	15	4	7	4	

(注) 規模区分: 小規模 製造業、卸売業、サービス業(1～9人)、小売業(1～2人)
 : 中小規模 製造業、卸売業、サービス業(10～19人)、小売業(3～4人)
 : 中規模 製造業、卸売業、サービス業(20～49人)、小売業(5～19人)
 : 大規模 製造業、卸売業、サービス業(50人以上)、小売業(20人以上)

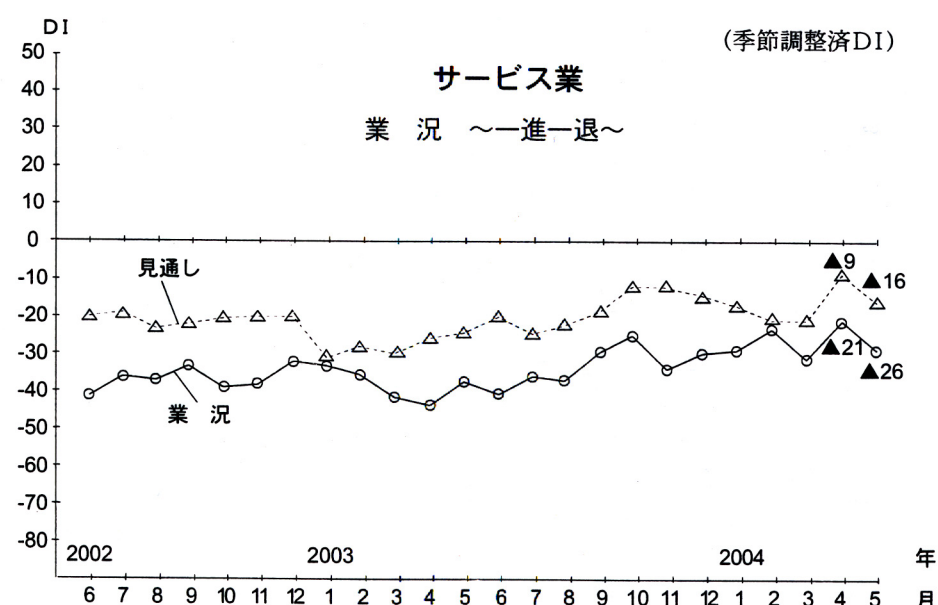
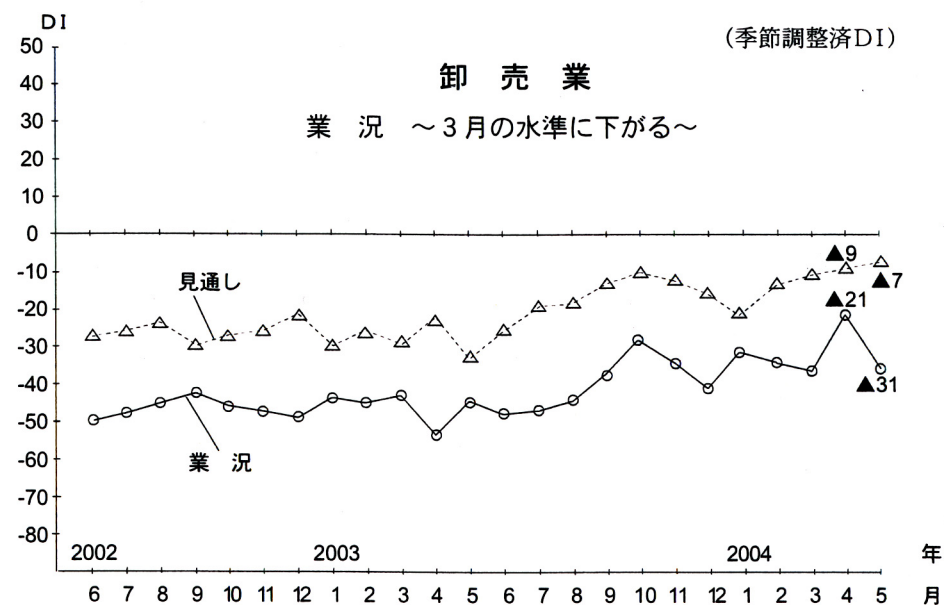
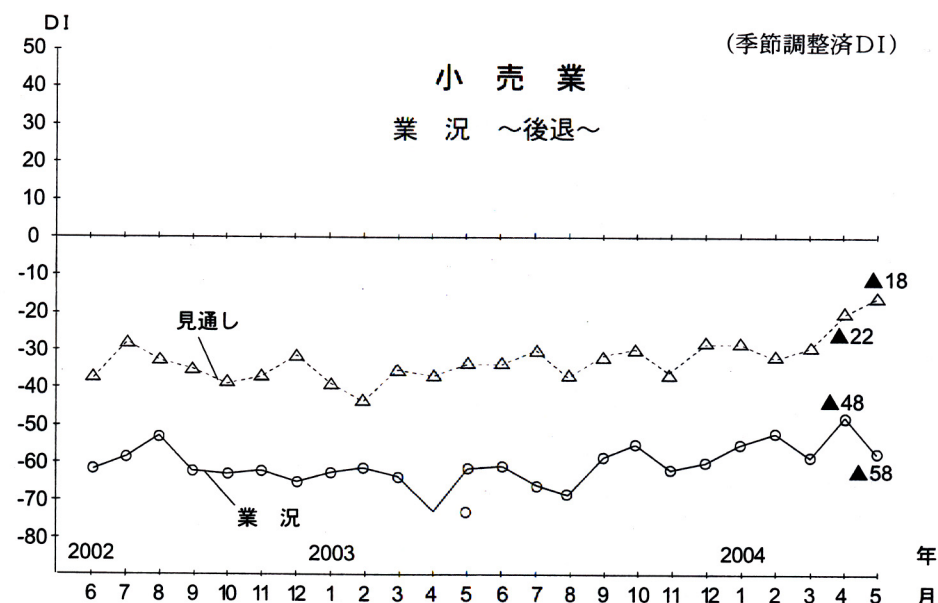
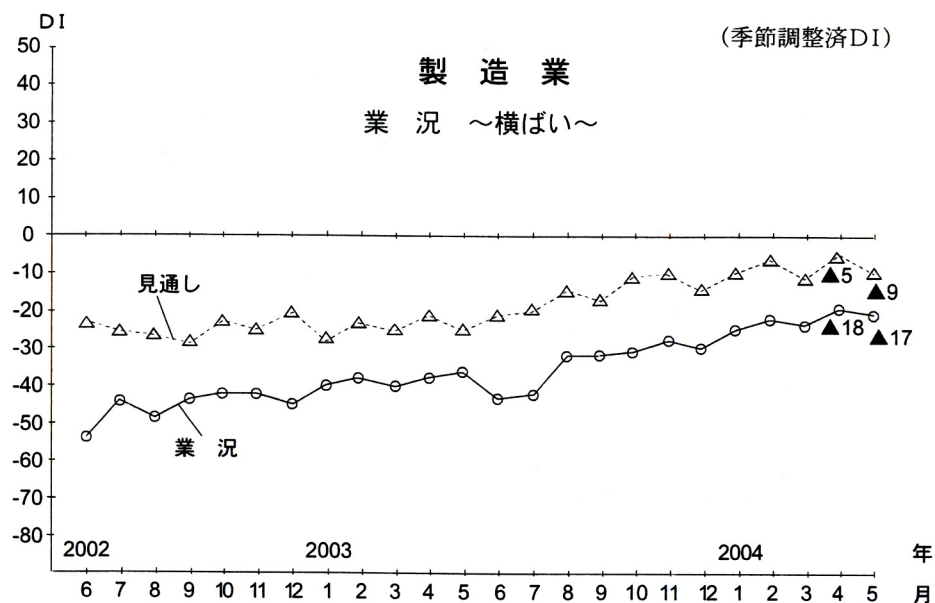
回答企業数

	対象数	回答数	回答率		対象数	回答数	回答率
全	4,250社	1,540社	36.2%	小規模	1,000社	417社	41.7%
製造業	1,250社	468社	37.4%	中小規模	653社	297社	45.5%
卸売業	1,000社	378社	37.8%	中規模	795社	343社	43.1%
小売業	1,000社	354社	35.4%	大規模	641社	286社	44.6%
サービス業	1,000社	340社	34.0%	規模不明	1,162社	197社	17.0%

全 体



業 種 別

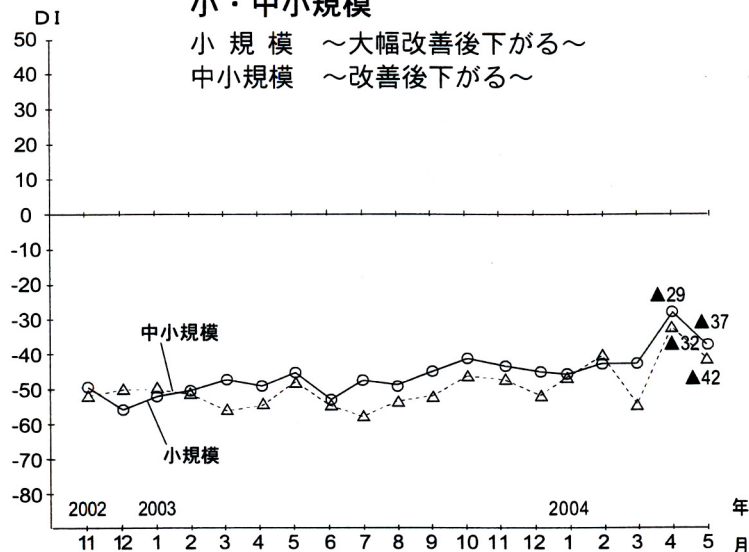


規 模 別

小・中小規模

小 規 模 ～大幅改善後下がる～

中小規模 ～改善後下がる～



◇ このグラフのみかた

各項目とも0を基準に左右のグラフの長さで業況の「良い」・「悪い」の程度を判断する。ただし◎印は全回答が普通ないしは同様、○印は良い、悪いの回答数が同数を示す。

◇ DI (Diffusion Index : 景況判断指数)

指数 (%) の算出方法は次のとおりである。

$$DI = \frac{X - Z}{X + Y + Z} \times 100$$

X : 「良い」「増加」「上昇」等の回答企業数

Y : 「普通」「ほぼ同様」等の回答企業数

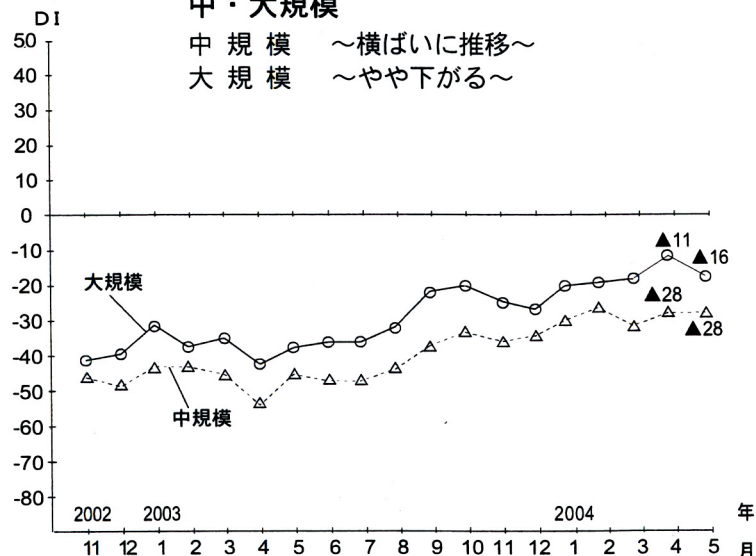
Z : 「悪化」「減少」「下降」等の回答企業数

従って、DIのプラスは景況の好転(売上の増加等)、マイナスは景況の悪化(売上の減少等)を表している。

中・大規模

中 規 模 ～横ばいに推移～

大 規 模 ～やや下がる～



製造業			業 況			
対象数	回答数	回答率	5 月		今後3ヶ月見通し(当月比)	
1,250	468	37.4%	悪い	良い	悪い	良い
			-100	0	100	-100 0 100
繊維・衣料・木材・紙・出版・印刷	1. ニ ッ ト					
	2. 染 色 整 理					
	3. 婦 人 ・ 子 供 服					
	4. シ ャ ッ ツ ・ 下 着					
	5. 装 身 具					
	6. 家 具					
	7. 建 具					
	8. 紙 製 品					
	9. 紙 製 容 器					
	10. 出 版					
	11. 一 般 印 刷					
	12. 軽 印 刷					
	13. ス ク リ ー ン 印 刷					
	14. シ ー ル ・ ラ ー ー 印 刷					
	15. 製 版					
	16. 製 本					
	17. 印 刷 物 加 工					

製造業			業 況			
対象数	回答数	回答率	5 月		今後3ヶ月見通し(当月比)	
1,250	468	37.4%	悪い	良い	悪い	良い
			-100	0	100	-100 0 100
化学・皮革・金属材料	18. プラスチック・ガラス					
	19. 工業用ゴム・セメント					
	20. 製革(なめし革)					
	21. 製 靴					
	22. か ば ん ・ 袋 物					
	23. 鉄鋼・非鉄金属					
	24. 刃 物 ・ 金 物					
	25. 建 築 金 物					
	26. 製 缶 ・ 板 金					
	27. 金 属 プ レ ス					
	28. 金 属 塗 装					
	29. 電 気 め っ き					
	30. ボ ル ト ・ ナ ッ ト ・ ね じ					
	31. バ ね					
	32. 金 属 加 工 機 械					
	33. 半 導 体 製 造 装 置					
	34. 油 圧 ・ 空 圧 機 器					
機械・器具・食料品・その他	35. 金 型					
	36. 包 装 ・ 荷 造 機 械					
	37. 配 電 盤					
	38. 電 気 照 明 器 具					
	39. 電 子 ・ 通 信 機 器					
	40. 電 気 計 測 器					
	41. プ リ ン ト 配 線 板					
	42. 自 動 車 部 品					
	43. 計 量 器 ・ 試 験 機					
	44. 医 療 用 機 械 器 具					
	45. 光 学 機 械 器 具					
	46. 水 産 食 料 品					
	47. パ ン ・ 菓 子					
	48. め ん 類					
	49. 貴 金 属 製 品					
	50. 玩 具					

卸売業			業 況			
対象数	回答数	回答率	5 月		今後3ヶ月 見 通 し (当月比)	
1,000	378	37.8%	悪い	良い	悪い	良い
			-100 0 100	-100 0 100	-100 0 100	-100 0 100
衣料・身の回り品	1. 織 物					
	2. 紳 士 服					
	3. 婦 人・子供服					
	4. 下 着 類					
	5. く つ					
	6. かばん・袋物					
	7. 装 身 具					
食 料 品	8. 青 果・果 実					
	9. 食 肉					
	10. 生 鮮 魚 介					
	11. 酒 類					
	12. 乾物・加工食品					
	13. パン・菓子					
日 用 雑 貨	14. 紙・紙製品					
	15. 家 庭 用 品					
	16. 玩 具					
	17. 文具・事務機					
	18. 陶磁器・ガラス器					
	19. 医 薬 品					
	20. 化 粧 品					
建 築・住 宅 関 連	21. 木 材					
	22. 板 ガ ラ ス					
	23. セメント建材					
	24. 管 工 機 材					
	25. 家 具					
	26. 室 内 装 飾 品					
	27. 電 設 資 材					
化 学・金 属 材 料	28. 塗 料					
	29. 工 業 用 薬 品					
	30. ガ ラ ス 製 品					
	31. ゴム・プラスチック					
	32. 鉄 鋼					
	33. 伸 銅 品					
	34. 鋅 螺					
機 械 器 具	35. 金属加工機械器具					
	36. 事務用機械器具					
	37. 機 械 工 具					
	38. 自 動 車 部 品					
	39. 医 療 用 器 械					
	40. 電 気 機 械 器 具					

小売業			業 況			
対象数	回答数	回答率	5 月		今後3ヶ月 見 通 し (当月比)	
1,000	354	35.4%	悪い	良い	悪い	良い
			-100 0 100	-100 0 100	-100 0 100	-100 0 100
衣料・身の回り品	1. 具 服					
	2. 寝 具					
	3. 紳 士 服					
	4. 婦 人・子供服					
	5. 洋 品 雑 貨					
	6. く つ					
	7. かばん・袋物					
食 料 品	8. 中 古 品					
	9. メガネ・時計					
	10. 食品スーパー					
	11. コンビニエンス・ストア					
	12. 青 果・果 実					
	13. 食 肉					
日 用 雑 貨	14. 鮮 魚					
	15. 弁 当・惣 菜					
	16. 茶・のり					
	17. 酒					
	18. 米 穀					
	19. 乾物・加工食品					
	20. パ ン					
耐 久 消 費 財	21. 菓 子					
	22. 家 庭 用 品					
	23. 陶磁器・ガラス器					
	24. 医 薬 品					
	25. 化 粧 品					
	26. 文具・事務機					
	27. ガソリンスタンド					
余 暇 関 連	28. ディスカウント・ストア					
	29. 家具・インテリア					
	30. 家 電 製 品					
	31. カ メ ラ					
	32. 貴 金 属・宝 石					
	33. 自 転 車					
	34. 中 古 車					
機 械 器 具	35. ベットショップ					
	36. 書 籍・雑 誌					
	37. スポーツ用品					
	38. 玩 具					
	39. C D・楽 器					
	40. 生 花・園 芸					

サービス業			業 況			
対象数	回答数	回答率	5 月		今後3ヶ月 見 通 し (当月比)	
1,000	340	34.0%	悪い	良い	悪い	良い
			-100 0 100	-100 0 100	-100 0 100	-100 0 100
企 業 関 連	1. 機 械 修 理 業					
	2. 各種物品賃貸業					
	3. 映画・ビデオ制作業					
	4. 有 線 放 送 業					
	5. ソフトウェア業					
	6. 情報処理サービス業					
	7. 情報提供サービス業					
サ イ ト	8. 広 告 業					
	9. 建物サービス業					
	10. 民営職業紹介業					
	11. 労働者派遣業					
	12. 警 備 業					
	13. ディスプレイ業					
	14. 土木建築サービス業					
ビ ス	15. 産業廃棄物処理業					
	16. デ ザ イ ン 業					
	17. 駐 車 場 業					
	18. 道路貨物運送業					
	19. 倉 庫 業					
	20. 運輸付帯サービス業					
	21. 港 湾 運 送 業					
個 人 関 連	22. 産業用機器賃貸業					
	23. 事務用機器賃貸業					
	24. 専門サービス業					
	25. 医療付帯サービス業					
	26. 計 量 証 明 業					
	27. リネンサプライ					
	28. 機 械 設 計 業					
サ イ ト	29. 非破壊検査業					
	30. クリーニング					
	31. 理 容 業					
	32. 美 容 業					
	33. 飲 食 店					
	34. 自動車整備業					
	35. 旅 館 業					
サ イ ト	36. 旅 行 業					
	37. スポーツ施設提供業					
	38. 遊 戯 場 業					
	39. 冠 婚 葬 祭 業					
	40. 不動産関連業					

【自由意見記入欄の内容】

景況調査票の自由意見欄に201企業の方から貴重なご意見をいただきました。今回の自由意見の内容を、下記の表のように大きく7つの項目に分類しました。全体では現在の経営状況や今後の経営姿勢に関する意見が一番多く、次いでその他や経済情勢・景気動向に関する意見が多くなっております。また、今回の特徴として中東情勢や好調な中国経済を起因とする原油や鉄鋼等の価格上昇に関する意見が多く見受けられました。業種別にみると、製造業では原材料価格の上昇と、それを販売価格に転嫁できない経営状況を訴える意見が多く、卸売業では経済環境変化や景気動向に関する意見、小売業では天候不順の悪影響や商店街の衰退などに関する意見が目立ちました。一方、サービス業では業界を取り巻く諸変化についての意見が多くありました。

(複数記入)

	全 体	製造業	卸売業	小売業	サービス業
経済情勢・景気動向について	20.4%	19.0%	25.6%	21.4%	13.3%
業界動向について	17.4%	13.8%	14.0%	21.4%	20.0%
空洞化・輸入品の増大について	8.0%	13.8%	14.0%	2.9%	0.0%
資金・金融機関等について	7.5%	3.4%	18.6%	4.3%	6.7%
経営状況・経営姿勢について	47.8%	50.0%	48.8%	51.4%	33.3%
原油・原材料の値上がりについて	10.4%	25.9%	9.3%	1.4%	3.3%
その他	24.9%	19.0%	20.9%	30.0%	30.0%
N =	201	58	43	70	30

以下に、それぞれの項目の特徴的なご意見について掲載させていただきます。

経済情勢・景気動向について

- 当社の景気はデジタル・ブームのなかで完全に回復した。しかし、当社の客先の景気回復はマダラ模様でイマイチである。デフレ克服による全国的な景気回復は、円安誘導による輸出促進が効果的であるように思われる。
(プラスチック・ガラス製造業)

- 業況は活発であり受注の消化に追われている。設備の増強もしたいが今一つためらいがある。今の景気は第二のバブルではないかということである。去年の今頃はどん底だったことを考えると落差が大きすぎる。過熱気味の景気は冷めるのが早い。人員を増加してしのいでいる。根本的には設備の増強がベストだが、迷っている。
(鉄鋼・非鉄金属製造業)
- 大企業(製造業)の大幅な業績回復が叫ばれており、大変結構なことである。が、一方で製造の現場ではリストラのマイナス作用が出ており、大きな混乱が起きている。日本の製造業の弱体化の走りとならねば良いが。
(電気メッキ業)
- 産業構造の空洞化(産業給食)・少子化(学校給食)・良質営業人材不足・集団給食市場へ大手資本の参入等が、直面している懸念材料。
(陶磁器・ガラス器卸売業)
- 当社所属業界の景況は、海外攻勢もあり回復感は未だの感が強い。これまで同様に堅実な経営に取り組む所存です。
(家具卸売業)
- 大企業の景気は急速に回復しているようだが、末端の流通を受けもつ小規模店舗では、回復は未だない。4月から税込み表示になり、大企業の政策的な売価付けによって我々の売価も引きずられていて、決算を見るのがこわい。
(くつ小売業)
- 日刊紙によると銀行の業績が上がり、景気も好調感を持ち続けるということですが、一方で企業間の合併も起こりつつあり、私ども小売業にとっても未だ先が読めないように思えます。依然厳しさが業界を取り巻いています。
(メガネ・時計小売業)
- 中小企業にとっては肌を感じるほど、景気は回復していません。
(情報提供サービス業)

業界動向について

- 版下(データ)から製版をして印刷をする印刷業が、デジタル(データ)から直接、被印刷物にプリントする方式(インクジェット)の進出によって、市場を食われて四苦八苦の状態。
(スクリーン印刷業)
- 規模が小さいほど苦しく、総合的になってない企業ほどダメになっていく。

印刷業の弱肉強食はまだまだ続く。体力勝負の戦いになっている。

(製版業)

- 消費動向の変化・小売市場の変化等々アパレルを取り巻く環境は、依然として厳しく、対応が難しい。マーケットをフォーカスしなければ生き残れないと感じます。

(婦人・子供服卸売業)

- 業界動向としては大雨から小雨の感じです。(事務用機械器具卸売業)
- 地域の経済地盤の沈下が著しく、特に法人関係の廃業が続いています。これにより次々と取引先を失い、先の見通しがつきません。(米穀小売業)
- 電機業界では量販店の熾烈な競争により、今注目のデジタル製品についても我々には取り扱いが難しい状態です。これからは修理屋になるか取扱品目をかえていくか、生き残る方策を考えねばなりません。

(家電製品小売業)

- デジタルカメラの本格的普及に伴いD・P・Eは需要が減少し、カメラ店は深刻。又カメラ等は一強九弱がますます拡大し、一般店はいつ廃業してもおかしくない状態。
- 理容店は増えてはいないが美容店が増加しているので、客の取り合いで若者はファッション化している美容店に移っている傾向です。

(カメラ小売業)

(理容業)

空洞化・輸入品の増大について

- 婦人物カジュアルウェアの製造をしている会社ですが、新しい流行がないために後進国の輸入商品との競合が激しい。従来の取引先が少しずつ輸入物を取り入れてきています。なにか新しい流れ(流行)ができることを願っています。
- 中国からの輸入品により製品価格が不安定(下方に)になり、デフレに歯止めがかかりません。又最近は安くて良い品が短納期で入荷し、国内の町工場では価格において競争できない状況です。私達も出来るだけ国内製品をと思っていますが、目先の売上確保の為やむを得ず中国製品を一年くらい前より取り扱っています。
- 私ども業界の近況は輸入品、特に特惠受益国からの低価格商品が年々増加しているので、これからは大変な時期がくると思います。
- 当社は製造業(プリント基板のメッキ銅)です。中国に安い単価で取られ

(ニット製造業)

(プラスチック・ガラス製造業)

(製靴業)

ているのが現状です。又作業工賃も安くされ、仕事量を増やすためには単価を下げなければ取れない悪い回転です。値上げが出来ないのが一番苦しい。仕事の数をこなすしかありません。

(電気メッキ業)

- 輸入品の扱い率が高まったことにより、ロットの単位が大きくなった。よって在庫が過大となり、回転率及び資金繰りは悪い方向で進んでいる。値入率だけを見ていると大きな落とし穴が待っている。(室内装飾品卸売業)
- 当社は電子部品の卸販売ですが、量産品(メーカー)が中国に移行しているので、国内の要求量が減少してきている。今後も売上増は見込みが薄い。粗利を大きくしてカバーしている。
- 景気低迷の中、安価な中国製バックの攻勢に悩まされている。国内のバック製造業者が次々と廃業し、販売価格の低落化に歯止めがきかない。

(かばん・袋物小売業)

資金・金融機関等について

- 金融機関の貸出しは依然として厳しい。第三者の個人保証は取りやめて欲しい。
- 大企業のリストラ効果と中国輸出関連で全般的に業績は上向いているが、そのしわ寄せは全て中小企業に来ている。我が社は中小企業ながらメーカーのため支払いも改善されない。
- 借入に対する返済が経営の足かせになっている。
- 中小企業向けの金融支援が悪い分、新しい事業の案件があっても実現にはほど遠い状況である。

(鉄鋼・非鉄金属製造業)

(油圧・空圧機器製造業)

(金属加工機械卸売業)

(機械修理業)

経営状況・経営姿勢について

- 伝統技術の伝承のため教室を開き希望者には週2回公開している。喜んで参加している人たちによってPRの輪が広がっている。
- 消費が向上しなければ包装紙器は受注減少が続く。今後も上昇は考えられない。したがって、新市場、新技術に挑戦するが、開発とその販売に努力、苦戦中。
- 仕事量が毎月一定せず多い月少ない月のバラつきがあり、受注があっても

(紙製容器製造業)

納期が短かったり、値段が非常に安かったりでこんな月がいつまで続くのか本当に頭が痛い毎日です。今後は東南アジア・中国で出来ない物を作っていく方法しかないのではないかと。（金型製造業）

- 大企業トップの増収増益を拝見し、私共小企業も安売り競争に巻き込まれずに価格より品質で勝負する方針を持っています。今は思うようにならず忍の商法でおりますが、今こそ初一念を貫く心で今後とも頑張っていきます。（乾物・加工食品卸売業）
- 順調に回復しているようだが、気候の要因は何ともしようがない。特に最近は一日の温度差が10度もある日があり、5月中旬に吹いた「山背」のような風が吹くと予定が狂う。（洋品雑貨小売業）
- お客様の心をとらえるような品物がなかなか見つからない。天候が不順のため何を売ったらいいか難しい。今は限定品をどう売るかで頭がいっぱい。昨年ほどのパワーがない。（化粧品小売業）
- クリーニング業界は大変厳しい経営が続くと思われます。なぜならば少子化及び服飾文化の変化が進み、カジュアル化によってクリーニングに出す品物が少なくなり、家庭洗濯が増え、クリーニング需要が減少していくと思われます。今後は保管業務・特殊シミ抜き（有料）等消費者のニーズを的確につかみ差別化を図っていきたいと思います。（クリーニング業）

原油・原材料の値上がりについて

- 1～3年で原材料が5割程値上がりし、困っている同業者が多い。当社の価格改定に協力的得意先とそうでない相手がいる。（鉄鋼・非鉄金属製造業）
- 合金用の非鉄金属地金価格がこの2ヶ月ほどで大幅に上昇しているが、価格に転嫁出来ないため採算がとれない。（建築金物製造業）
- 原材料単価の上昇を製品価格に転嫁することがなかなか難しいのが大きな課題である。現在新しい分野の開拓に努め、高付加価値製品の販売に力を注いでいる。（ボルト・ナット・ねじ製造業）
- 前年同期より明るさは出てきているようだが先は不透明。鉄鋼製品と燃費・輸送費の値上げで今後の展望は不明。（セメント建材卸売業）
- 素材インフレの影響が依然続いていますが、仕事量は増えていないので流

通段階で仕入価格を吸収せざるを得ない。したがって、利益を圧縮しなくてはならず今期は厳しい環境になるものと予想しています。

- （管工機材卸売業）
- 原油の値上がりにより仕入価格も上昇。しかし販売価格に転嫁出来ず困っている。（ガソリンスタンド業）
- 石油関係の原材料が値上がりしていますので、今後価格に影響があるかと思えます。（デザイン業）

その他

- 非常に特殊な、そして繊細な加工を必要とするため、製作の面でそれをこなせる職人や材料が年々少なくなっている。せっかく、景気が良くなっても金利などが上がれば我々のような小さなところはついていけなくなってしまう。（かばん・袋物卸売業）
- 加盟している商店街自体が衰退状態にある事実も考えなければならないが、売れる店と売れない店の二分化現象が出ているように思われます。（寝具小売業）
- 来店するお客様の様子だと外税内税はあまり変わらないように感じるが、日常の買い物で出費する金額は同じでも意識の中では価格が高くなったと思っているのかも知れない。時間という慣れが、少しずつ違和感を失わせるのであろう。（メガネ・時計小売業）
- 総額表示がなにか悪い影響をおよぼしているように見えます。近くにゲリラ的なスーパーが出店するので悪化すると思われます。（食品スーパー業）
- 消費税1千万以上課税で売上げ減のところ大変厳しい。（弁当・惣菜小売業）